

刊夕 日一月十

常警每日新聞

定価 一部全五頁 月金五拾銭 郵税五拾銭
廣告料 五拾二文字 一行金五拾銭
日曜 祭日の翌日 休刊
発行所 常警毎日新聞社
印刷所 常警毎日新聞社
電話 六三〇
社 常警毎日新聞社

偉人といふもの

H T 生

阿片が無ければ到底心機一轉は不可能だと云つた連中は數多かつたが、就中英國の文豪ドーマス・ド・ク井ンシーは十九歳で牛津大學に入籍し二年生の時から七十五歳の臨終まで此の習慣の奴隷であつた。劍橋に在學中グリーキ・オードでは匹敵するものがなかつた已が生活は極めて簡單な代りに朋友の來訪を見ると忽ち財布の底をばたいた。艶麗なる容色と銀鈴の聲音と柔順な態度は婦人で髪髻であつたが「阿片を喫する英人の懺悔」と題する名著まで遺しただけ此の道に惑溺した。

ノート

塵埃箱に
蛆蟲がわ
いた時は

で七十四歳の棺を蓋ふまで此の惡癖から遁れ得なかつた。英國の指導者ドーマス・ホッブスは其の母親が例の西班牙のアーマダが襲來したと聞き、驚きの餘り産んだ月足らずの兒であつたが九十二歳まで浮世を樂んだ此の人は煙草の煙りを嗅いで疲れた腦を醫し鋭氣を回復すると云つて、机上に「明日の献立」

【朝】 清汁——若芽 小

【晝】 ウーフボーチー トマト

【晚】 野菜スチュー トマト

添へ

打位の煙管を排列し、之れ等を點する蠟燭の火は消さなかつた。それで化物の存在を確信し殊の外恐怖の念に驅られてゐた。

風光明媚なルーツルン湖畔のチューリッヒが生んだアンリ・フセリは著者として英國で、畫家として伊國でもて囃された。羅馬に保存されてゐるシーエクスピアの肖像畫は天下一品との稱があるがこれも血が滴るゝ生肉を頬ばり乍らの作であつたことは疑を容らない。英詩人の父と仰がるゝ

チョーサーの作を翻譯したので一躍敬慕の的となつたジョン・ドライデンは、生きては出版業者のアチックで居候となり、死してはウエストミンスター・アッベの土と化した位な豪傑だつたが、其の好物はフセリと符合したのみか、甚だしきは往々己が身を傷つけ出血するを見なければ、眞の食味を賞玩することが六ヶ敷かつた。

續風景

——舊作より——
木津 茂太郎

- 自動車があけるを歩くのだった
- 繪をかく子に日だまり
- 白壁の倉の遠くからも見えて歩いてゐる
- わくら乗るに白い犬がくる
- 遠い山脈を背にして稻子とる子たち
- 稻田を死んだ友をおもつて歩いてゐた
- つららとる子は山家の子ども(ふゆ六句)
- つららありつめたし
- 山は枯れて頬白の二羽三羽は枯れ山へ
- 冬空勿来の山が見えるぞ
- 歳が押しつまつて峯のしらゆき
- 窓に病人がみえる枯木ばかり

移轉

平、五丁目

(モリタヤ東隣り
小野榮典服店跡)

美術装身具、ライター
指輪、時計と眼鏡類

山崎時計店

◇修繕は技術本位然も自信を以て勉強致します

体温計の検査日です

10日 検新
機設 お宅の體溫計は?

- ◎正確な体温計を御使用下さい
- ◎毎月十日の検査日御利用下さい

度量衡 指定販賣人
計量器 西村屋藥局
電三番

魂の入った

機關銃印の自轉車

- 一、全部鋼鐵、特種壓搾製
- 二、自動注油、防水防塵、裝置
- 三、ヘッド及びホークのスプリング作動

斯界に比なき數多の特長を有するが故に耐久力は普通車の五倍以上。而かも惡路でも振動を感ぜず。その輕快さは本車のみにある特長で製作者の苦心の存する所であります。

機關銃印の自轉車(宣傳中) 五十八圓

戰車の如く頑強だと御評判を賜りました

フタバ式超重量用リヤカー(宣傳中) 廿五圓

永年修繕費のかゝらぬ
兩車の御利用を切に御願ひ申し上げます

フタバ商會
平・新川町・月見橋際

味覺の秋を樂しめる

香氣のよい 松茸料理 種々

多少に不拘出前迅速

錦水

仕出し 専門
電四五四

外科

内臓 外科

レントゲン線

醫學博士 諸橋鐵彌

◎新川町二七(電四六四)

◇備完室病◇

涼風を追ふでブイラドを

タクシーは尼子へ

車体優美御用命は親切
迅速をモットーとす

一シクタ子尼
番〇四六電

洗練されたサービスは完全に
皆様の使用を果します

月曜是非

不名譽の慘害

今度の近畿地方に於ける
颱風の被害で、最も人の面
を反けしむるものは學校の
倒壊と職員生徒の夥しい死
傷の慘狀である。

物的背景の豊かな大阪に
於いて、劇場とか大工場大
邸宅、其他の大ビルデング
が風伯の猛威に平然たる傍
らに、數多くの小學校が片
押しに壊滅した事は一体何
を物語つて居るか。

世のあらゆる金銀財寶を
以つてしても代へ難い子供
達、一日の生活の内でも最
も多くの時間を割く學校は
彼等の爲めの樂園であらね
ばならぬ、彼等幼き者達は
此の建物に對し絶對の安心
と萬腔の信頼を持つて居た
であらう、然るに此の建物
が彼等の可憐な生命を脅や
かす地獄の淵であつたとは
羅災の子供達は死んでも浮
めぬ事であらう。

斯かる魔の建物とも云ふ
べき小學校を一世の大事な
子供達に提供して、今迄安
閑として居た大阪人は、常
に自己の生活にのみ汲々と
し、公共的な念慮の稀薄で
あつた一面を此期に及んで
如實に暴露したものであり
大阪人の人の惡さが凝結し
て今回の慘害を生んだとも
云へる、從つて天を恨む前
に己れを反省せねばならぬ
に拘らず、東京方面や東北
地方からの救援の手の伸び
方が遅いと不平や不満を云

ふ大阪人に對し吾人は甚だ
しい腹立しさを感ずるもの
である。
而し他山の石と云ふ事が
ある、本郡下殊に平町に於
ても平商の如く老朽な建物
である。

もあり、第一、第二兩小學
校また堅牢を誇るに足る建
物と思へず、第三校は新築
とは云へぬさうらしい田圃
の中の孤立して居る二階建
である。

空つ風吹き荒ぶ日に多少
なりとも膽を冷す處がある
以上、此際は宜しく對策を
樹立して、大阪の如き不名
譽の慘害を生まざる事に用
心すべきである。

群雄を壓して

入山の制覇成る

打撃賞は藤森左翼手(入山)

▽...警陽野球大會終る

秋、警陽球界の最高峯——第七回警陽野球大會二日
目は雲低く垂れる三十日警中球場で勝ち残つた高月
入山、湯本及び磐炭(不戦勝)の四チームが覇權を目
指して熱戦を展開した、先づ高月對入山戦は高月軍
士氣振はす入山の蹂躪を甘受して退き、湯本對磐炭
戦は新進湯本軍二点を先取してこのまゝ、強敵を屠ふ
るかと思へたが後半投手團の脆弱さを暴露し猛打を
浴びて磐炭の陣門に降る、かくて地方球界の双壁た
る入山、磐炭が昨秋同様決勝戦に相見えた、折柄そ
ぼ降る冷雨の中に兩雄死力を盡して健闘したが入山
秘藏投手上面の魔球に磐炭の各打者翻弄されこれに
反して入山の攻撃目覚ましき遂に九對一で凱歌は高
く入山の陣營に上り入山昨秋の復讐成り榮ある優勝
旗を獲得した、なほリーディングヒッターは入山チ
ームの藤森左翼手が五割五分五厘の高率で最初の打
撃賞を授與された

入山の攻撃振ひ

磐炭の陣營崩る

磐炭 001000000
入山 10221012A 9-1

決勝戦——入山對磐炭は
午後二時十分から磐炭先
攻に開始(審判石坂、水
竹、佐藤、熊)

生還、佐藤の遊撃で上面封
殺△二回、兩軍無爲△三回
磐炭森田中越二塁打、菅原
の犠打に三進、齊藤とのス
クイズ成り同点となる、限
川右翼安打したが二盗成ら
ず△入山、萩野四球、坂本
の犠打に送り朝妻の二割
低打に萩野生還、朝妻直ち
に二盗△金成四球、上面の遊
撃で金成封殺、佐藤の三遊
間安打で朝妻生還、日野二
飛△四回、磐炭渡邊、湯井
(弟)共に四球、それ〴〵盗
塁成つたが後續なく絶好の
チャンスを送す△入山、藤
森遊撃低打に生きた西澤の犠
打に二進、萩野中前安打、坂
本遊撃、朝妻の中前安打に
藤森、萩野生還、金成遊撃
入山更に二点を加ふ
△五回、磐炭無爲△入山
上面左翼棚をワン・バウン
ドで抜く三塁打、佐藤の遊
撃に本塁を衝き危く生還、
日野中飛、藤森の投直は佐
藤と併殺△六回、兩軍無爲
△七回、磐炭小林遊撃後逸
に出たが永井三振する時二
壘に走つて刺れ森田四球、
直ちに二盗△菅原投擲△入
山(磐炭涌井弟投手、渡邊
遊撃となる)朝妻、金成共に
四球△土面三振、佐藤遊撃
低打に生きた、日野の遊撃は
朝妻を封殺、藤森四球で金
成押出され西澤三割で一割

に止んだが入山合計七割を
擧げて大勢を決す△八回
磐炭零△入山、萩野左前安
打、坂本の犠打に送り朝妻
遊撃、金成の三遊間安打で
萩野生還、上面中前に快
打すれば中堅手前進焦つて
後逸する間に金成生還、上
面一塁二進、佐藤三割△九
回磐炭、涌井(弟)三割涌井
(兄)四球に出たが二盗成ら
ず、小林中飛、終り九對零
で入山優勝す、閉戦四時十
分

平第一校の兒童が

三郡繼走に優勝

既報昨三十日開催された双
葉中學校陸上運動會の濱三
郡下小學校兒童繼走に出場
した平第一小學校は尋常科
(四百米高等科、八百米)共
に優勝し優勝旗を獲得昨日
平着午後六時三十分で歸平
したがタイムは尋常科五九
秒四、高等科一分五六秒
の好記録で一般觀覽者の歡
賞の的となつた由因に出場
選手及び成績は左の如くで
ある

依然續騰

四倉齋市況

四信齋市場昨日の取引は
總數八百七十二貫三百匁最
高廿七圓九十錢、最低廿圓
五十錢、馴廿六圓二十錢で
依然生糸高と出廻り薄の爲
め高値を續け前日の馴相場
より二十錢の高値を見た

演習参加

兩校の豫定

白土喜伯氏が

喜多流教授に

七日に披露大會

土喜伯氏は多年の功勞酬ひられ此程助教授より更に
教授に昇格する旨宗家より免許を發せられたので門弟
一同の喜び一方ならず此際記念品を贈るべく目下奔走
中であるが此の榮譽を擔つた白土氏は来る七日午後一
時より藤田女學校に於て宗家より斯界に於ける泰斗栗
谷益二郎氏外數名大家の派遣を乞ひ披露大會を催素
許と仕舞を公開する由

山形の博覽會に
平町から諸出品
平町役場では来る十日から

△出場選手(尋常科)新妻
喜太郎 佐藤木 齋藤義
孝 渡邊政之(高等科)中
島利雄 佐藤喜一 先崎
清一 古市英雄
△決勝成績
(尋常科)1平 2上岡

警中及び平商教練部では來
る二十日郡山市を中心の開
催される縣下(二十五校)中
等學校聯合演習に各五年生
警中百九十五名、平商六十
五名が参加せる事になり日
下準備中であるが警中は來
る十六日より三日間若松第
二十九聯隊に於て兵營宿泊
見學の歸途十九日郡山在喜
久田に露營、平商は十九日
出發郡山附近に宅し各二十
日の沸騰戦に参加する豫定
である由

江名灣頭 涙新たに

一勇士をしのぶ

昨日の表忠碑除幕式

江名永崎海岸に不慮の墜落死を遂げた空の勇士増田作治、島田誠兩少佐を永久に傳へる爲め豫て同地現場に

建設中であつた海軍

機遭難者表忠碑の除幕式は

三十日午後二時半から碑の

題字「忠烈護空」の執筆者加

藤寛治大將及び兩氏遺族七

氏並びに陸海軍諸將星、中

央著名の諸氏を迎へて盛大

に舉行されたが碑は故島田

少佐の

實弟の手により除幕

された、この日兩遭難者の

僚友三浦特務中尉も式場に

參列兩勇士ありし日の追憶

も新たに兩眼をしばたかせ

てゐたのは參列者一同一し

は感慨深いものがあつた、

擧式と同時に江名漁

港に碇泊中の漁船七十隻は

満艦飾を施して沖合遙かに

追悼の意を表し、海軍省か

ら特派された映畫班及び日

本活動寫眞協會、日活、松

竹のトーキー班がクラック

の音も靜かにこの

盛儀をカメラに収め

たが横須賀から飛來する管

であつた飛行機は悪天のため

中止となつた、當日參列

して式辭を朗讀した主なる

野横鎮司令官 大西航
空司令 畑山本縣知事
有段者剣道
優勝の面々

別項除幕式當日江名協議會
主催で遭難現場附近海岸で
催された郡下有段者剣道大
會の結果左の如し

- 1 平署 遠藤正彌三段
- 2 平商 草野忠吾二段
- 3 平署 大谷次男二段
- 4 好間 山田富雄二段
- 5 磐炭 圓谷兼廣二段

閑伽井嶽の中腹に

休憩所「待人堂」新設

平町五丁目片寄友次郎氏其
他は工費三百五十圓を以て
閑伽井嶽參道中腹に休
憩所「待人堂」を建設し又鉛
管九十五間の水道を敷設工
事中であつたが此程竣工し
たので近日旭純榮大僧正臨
席の下に寄附献納式を舉行
する

庖丁逆手に

歸途を待ち伏せ

匡救工事の仲間

スコップで殴られて

二十九日午後四時頃平窪村
中平窪地内道路に刺身庖丁
を手にした暴動不審な農夫
体の男あるを通り合せて同
村駐在長谷川巡査が発見引
致取調けると右は同村中平
窪字高橋農熟海善務(三)で



今晩は北西の風
薄曇明日は北東
の風晴曇半す

今晩の部

- 後六、〇〇 子供の時間
童謡とピアノとハーモニ
カ 土井秀子 齊藤一郎
- 後六、二五 基礎英語講座
(八)岡倉由三郎
- 後七、三〇 講演「簡易保
險記念日」逓信大臣 床

まつたが憤怒去らぬ熱海は
そのまゝ歸宅一念こめて刺
身庖丁を磨ぎすまし前記の
如く善務の歸途を要して刺
さんとしたこと判明殺人豫
備罪として送検さる

コックくづれ

内郷を荒す

當時住所不定東京市荒川區
上尾久丁目生れコックく
づれ吉田忠雄(三)は去月二
十五日内郷村宮字金坂時計
商江坂清秀方から十八金側
腕時計価格二十二圓を窃取
入質費消した外同村を中心
に荒し廻り十一件價格二百
數十圓の窃取を働いた事
發覺三十日平署に檢舉され

自轉車から

舊惡露見

小名濱町中島漁夫寺島金次
郎(三)は去月八日小名濱町
地内で自轉車一臺を窃取し
た事發覺、二十九日平署に
檢舉されたが取調への結果
同人は去る七月下旬より江
名、小名濱町を股にかけ船
具専門に十一件約五十圓を

飲食店と旅館を

掛け合しての詐欺

ふれ込みは銀行員

飯野村下荒川生れ住所不定
前科四犯阿部連次郎(四)は
銀行員との觸れ込みで卅日
夜來、平町驛前藤田屋旅館
に宿泊けふは日曜で銀行か
ら金とれないから明日支
拂ふと煙に捲いてゐたが
舉動不審で平署員に檢舉さ
れ取調べると何んと懷中無
一文で昨夜は南町某料理店
に登樓二十七圓を豪遊藤田
屋旅館にとり来いとて巧
みに逃走した事發覺餘罪あ

赤井青年

道路愛護

班員が出動

赤井村青年團ではこの程道
路愛護班を組織したが今後
毎月二回に亘つて同村地内
の道路修理その他清掃奉仕
作業を行ふことになり昨三
十日先づ全班員二十數名出
動第一回の作業を行つた

主人をたぶら化し

東京行の足代を作る

くすめた賣溜め

平町五丁目マルカ酒店方雇
人若松市融通寺町生れ齊藤
吉一(一)假名一は昨三十日
赤玉ボートワインの注文が
あつたが「十圓札でお釣

氣象通報 番組廣告

明日の部

- 前六、三〇 基礎獨語講座
(九)岡本修助
- 前七、〇一 聖典講義(三)
柴田一能
- 前八、一〇 料理献立 子
持 崎山崎ちとせ
- 前九、〇三 婦人美術講
座「彫刻美の味ひ方」(二)
北村西望
- 後〇、〇五 管絃樂 新交
響樂團練習所より中繼

- 後六、〇〇 子供の時間
童話 岸邊福雄
- 後六、二五 英語講座(二)
の四)久野朗郎
- 後七、三〇 講義「世界海
運界の現状」大阪商船社
長村田省藏
- 後八、〇〇 ビアノ四重奏
瀬戸敏子外
- 後八、二〇 義太夫 加賀
見山舊錦繪 竹本越道
- 後八、五〇 吹奏樂 大阪
吹奏樂團

公民學校始業

既報
平商業學校内實業公民學校
の始業式は本日午後七時よ
り平商講堂に於て青沼町長
始め町會議員、學務委員等
臨席の下に舉行されるが今
期入學者は二十一名、在校
生は前期、後期を通じ計五
十餘名で正式授業は明晩よ
り開始する由

平商級長任命

平商
は本日朝會の際既報各學年
に於ける後期正副級長の任
命式を舉行した

磐女對抗排球

磐女
体育部では本日放課後二年
の各クラス對抗排球小會を
催した

法曹團が勝つ

磐女
職員對平法曹團の野球試合
は去る二十九日午後三時よ
り櫻ヶ丘球場で舉行八對四
のスコアで磐女軍惜敗

新音頭

(續前上段及上稿)

田邊南龍(作)
山本芙蓉(監)

一四七:

權八大阪で自訴

「ハテ何とやら宜からう」と暫らく考へてをりましたが、ふと思ひ當つたのは御上のお役人に送つて貰ふのが一番安全だ、役人に連れて行つて貰はう、巧い事を考へました、時は貞享元年六月三日、大阪町奉行宮崎越前守殿のお役宅へ、ズカ／＼と入つて来た。

「コレ／＼其方は何だ」
「恐れながら、お願いの筋があつて罷り出でました」
「差越し願ひは相叶はん、順當を以て願へ」

「私儀は先達て人相書を以てお尋ねに相成り候平井權八と申する者、御上の御威光強きに、天地の間身を容るべき處もなく運命も之までと存じ向御奉行所へ名乗り出でましたが、差越し願ひ罷りならんと仰せあるならば、他のお役所へ参りませう」

「ア、コレ／＼、其方が權八か外へ行かんでも宜いサア／＼此方へ／＼」
役人も驚いて早速御奉行へ申上げる神妙の至りである直にお白洲へ廻されしました。宮城越前守殿「コリヤ平井權八と申すは其方か」



さういふ譯で權八は大阪に於ては別段にお調べもなく軍鶏駕籠に乗せて江戸表へ差立てる事になりました。與力、同心、手附の者大勢駕籠の周囲を取巻きまして江戸表を差して上ります、途中の宿驛往來の人々、平井權八と聞きまして、怖氣を慄ひながら、駕籠の内を覗いて見ますと、前申上げる通りの美男子「どうだいマア虫も殺さねえやうな顔をしてゐる癖に恐ろしい人殺しだ、人は見掛けによらないものだ」

「外でもございせんが、當所に伊丹屋長右衛門と申します質兩替商がございます、以前某當地に滞在の砌心安く致しましたが、仔細あつて金子二百兩といふものを長右衛門に預け置きました」

かつを

塩から



店理代平命生本日大最優最
榮盛賀志
(三一二電)目丁四平

看護婦急派

の求めに應じます

平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

入病隨意
院室完備
木村病院
電話六四番

婦人科 院長 木村寅次郎
外科 醫學博士 内木宗八
藥局 藥劑師 玄番彌一

平町新川町十九

吸入用酸素

純度 99%

度量衡

モノサシ
マス
ハカリ
計量器
體溫計
寒暖計

秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス

関内藥局

電話四〇番

寫眞材料一式販賣致シマス

レメドール

子宮あたゝめぐすり
宮温湯

ハタケ、ヤケド、キリキズ、タムシ
子宮病、根切藥、下腹や腰の痛みをなほす事妙なり

たんぼあめ

丹波博士創製セキドメ

うまくてセキがヨクトマル
コビハレ、ヤケド、キリキズ、淋病、梅毒、乳ハレ、すべて化膿したもの

靈藥ムテキ

を切らずに癒る

阿康藥舖

平町古鍛冶町一〇

縣社ノ下 電話四四番